



LA 17a

2-CHANNEL
POWER
AMPLIFIER

L-ACOUSTICS PROFESSIONAL SOUND SYSTEM



2チャンネル × 430W 8
 2チャンネル × 840W 4
 2チャンネル × 1200W 2
 コンパクトなデザイン (2U)
 軽量 (8kg)
 MLS™ スイッチで、パワー
 ロスなくフルパワー (4 · 8)

電子バランス入力
 出力電圧とヘッドルームを
 LED 表示
 Inter-cooler® による冷却
 スピード可変冷却ファン
 独立した保護回路
 温度保護回路

ALS™ ショート保護回路
 DC プロテクション
 クリップリミッター
 VHF プロテクション
 AC プロテクション

特長

LA17aは、軽量でコンパクト (高さ2U、重量8kg) でありながら高いパフォーマンスを要求されるツアーや設備等に対応できるようにデザインされています。各チャンネル2オームで1200ワットのパワーを出力することが可能です。Minimum Load Select (MLS)スイッチの採用により、広い範囲のインピーダンスロードに適したパワーを出力し、様々なラウドスピーカーにマッチングします。

LA17aは、スイッチング電源を採用することによりアンプの重量とサイズの問題を解決しました。これにより従来のパワーアンプに使用されていた大容量コンデンサーと重い鉄製のトランスフォーマーに代わってフェライトトランスフォーマーの使用が可能になりました。従来のパワーアンプと比較して結果的に重量を60%ほど軽くすることに成功し、放熱方式として非常に効果的なInter-coolerシステムを採用しています。

オーディオに使われていた初期のスイッチング電源の技術はコンピューターに使われていた電源をそのまま採用しただけのものでした。しかしLA17aではプッシュプル回路によりトランスフォーマーの2次側の電流制限をしないでレギュレートできるスイッチング電源を採用しています。そして、コンデンサーへの出力チャージ電流パルスは誘導コイルによりACラインからの磁気パルスと分離されています。全体の結果として従来のパワーサプライと同等のパフォーマンスと特性を持ち、さらに高いピークパワーとタイトな低域、そして繊細なトランジェントレスポンスを再現することができるようになりました。

パワーアンプへのスイッチング電源技術の導入はDCレール電圧の安定化を容易にしました。電源電圧が定格の20%低下した場合や、電源周波数がDCから400Hzの状態でも最大出力を発生させることが可能となりました。この安定性はフェライトトランスフォーマー内の磁気エネルギーをパルスワイドプロセッサと磁束変動の検知によってコントロールすることで得ることができました。

LA17aに採用されている24個のバイポーラー・パワー・トランジスターは、放熱のため熱伝導率の良い銅製のヒートシンクにマウントされ、前面に装備された圧力チェンバーと2個の可変スピードファンによって冷却されます。このヒートシンクシステムであるInter-coolerは特許により保護されています。

また、温度フィードバック回路が過熱によるトラブルを防ぎます。そしてキャリアノイズとディストーションを減衰させる標準の中で、最も厳しいEMCとRFIスタンダードをクリアするため、アクティブフィルターを採用しています。

LA17aは回路をショートから完全に保護します。非常に大きな電圧においてもトランジスターを現状のオペレーティング電圧のまま安全動作範囲内で作動させています。このことにより従来のパワーアンプで使用可能な最低のインピーダンスよりも、さらに低いインピーダンスでラウドスピーカーをドライブ可能にします。他にもLA17aとラウドスピーカーを保護するために、保護回路が各チャンネルに別々に装備されています。

DC保護回路:

2種類のDC保護回路 各チャンネルへのヒューズによる保護(IEC65規準)
出力のショートを防ぐクローバータイプ保護

温度保護回路:

LA17aのオーバーヒートを防止します。異常時にこの保護回路が作動する前に、フロントパネルにあるプロテクションインジゲーター点灯します。

クリップリミッター:

信号が、フルピークパワーの状態で、激しくクリップしたままラウドスピーカーへ出力されるのを防ぎます。

VHF (Very High Frequency)保護:

高出力時における、高音域の非音楽信号からラウドスピーカーを保護します。

AC保護回路:

ライン電圧がLA17aの規定電圧範囲を超えた場合に出力を切り、ラウドスピーカーを保護します。

これら全ての回路は、4つにモジュール化されているので、修理やメンテナンスが容易に行えます。

最大出力¹⁾

EIA at 1kHz and 1% THD

MLS switch

	-3dB	0dB
16 stereo	110W	215W
8 stereo	220W	430W
4 stereo	430W	840W
2 stereo	870W	1200W
16 bridged	440W	840W
8 bridged	870W	1680W
4 bridged	1740W	2400W

スピーカープロテクション

各チャンネルはパワーサプライのプラスとマイナスレールに取り付けられているヒューズにより保護されています。また出力でショートした時、出力パワーはオフされるためアンプはその影響でダメージを受けることはありません。

歪み(4 負荷)

THD 20Hz - 20kHz and 1W- 750W	0.04 %
THD at 1kHz and 750W	0.01 %
DIM 30 at 400W	0.008%
CCIF(13 and 14kHz) at 200W	0.008%
SMPTE(60Hz and 7kHz) at 400W	0.01%

パワー帯域幅²⁾ 5Hz - 20kHz

スルーレート(1kHz) 60V/ μ s

アウトプットインピーダンス 0.03 ohm

ハムノイズ (最大出力電圧より) <-110 dBa

チャンネルセパレーション 80 dB(1kHz)
70 dB(10kHz)

フェーズディレイ

フェーズ偏差 $\pm 1^\circ$ (150 Hz - 20 kHz)
トータルディレイ(4 ohm 負荷) 3.5 μ s

インプット

感度,(4 負荷フルパワー時) 1.46 Vrms(5.5dBu)
ゲイン 32 dB
インピーダンス 20 Kohms, 電子バランス
C M R R(1kHz) 50 dB

フロントパネル

ゲインコントロール (2) Channel A - B
アウトプット ディスプレー (2)red + (10)green LED's
温度インジケータ (2)yellow LED's
プロテクトインジケータ (2)yellow LED's
Onインジケータ (2)green LED's

Fast peak - slow release
ヒートシンク温度 80 にて
12 KHz 以上でフルパワー (5 秒以上持続)
チャンネル A B の D C レール電圧

リアパネル

インプットコネクター (2)ノイトリック Combo XLR type 3 pin female & 1/4" Jack and (2) XLR type 3 pin male
アウトプットコネクター (2)ノイトリック 4 ピンスピコンコネクター

スイッチ:

Clip limiter A and B On - Off (switchable)
MLS 0 or -3 dB

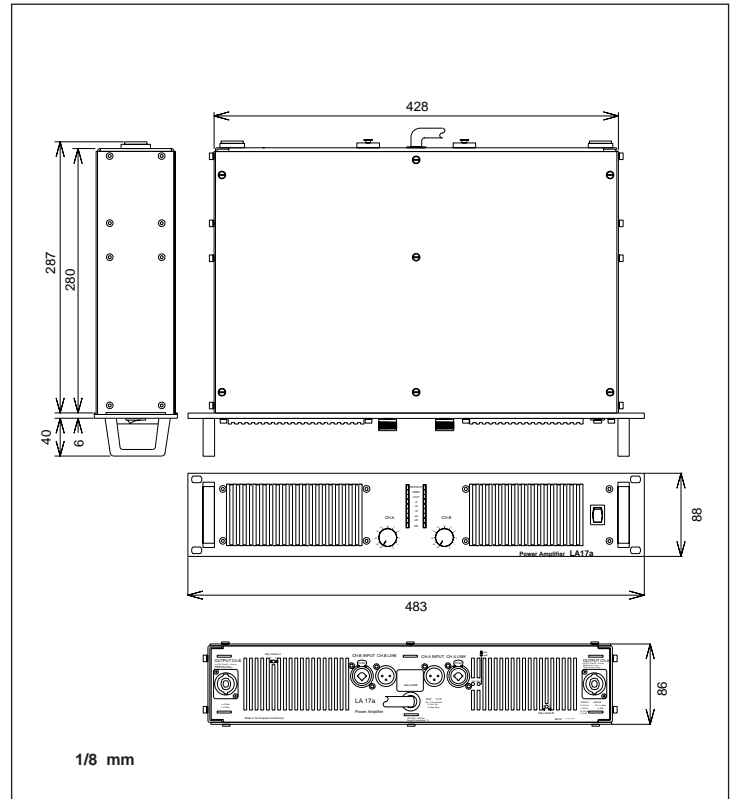
電源

動作電圧 65 V - 130 V AC
最小スタート電圧 90V AC
フルアウトプットパワー 90 V - 130 V AC

消費電力	1/3 ¹⁾ 7 ⁻³⁾	1/8 ¹⁾ 7 ⁻⁴⁾	アイドリング ³⁾
8 (430W 出力 x2ch 駆動時)	730W	480W	115W
4 (840W 出力 x2ch 駆動時)	1330W	840W	115W
2 (1200W 出力 x2ch 駆動時)	2200W	1400W	115W

外寸mm 483 W x 88 H x 333 D

重量 8kg



- 1) 電源電圧 230V AC を規定とする。
- 2) 12kHz を超えた高出力時は VHF-プロテクション が作動します。
- 3) アンプがクリップレベルに達する音楽ソース時
- 4) 通常のレベルの音楽ソース時

仕様規格・外観は、予告なく変更することがあります。
2002年10月現在

ベストテックオーディオ株式会社

本社
〒130-0021 東京都墨田区緑4-25-5
TEL03-5600-3685 FAX03-5600-3687
大阪営業所
〒532-0002 大阪市淀川区東三国3-11-16-817
TEL06-6391-8562 FAX 06-6391-8475
info@bestecaudio.com